

北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流・定住促進プロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）

目的

今後の北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の開業も見据え、歴史・文化・食など地域の資源を最大限に活かし、観光誘致、ワーケーション等による長期滞在、移住定住の促進など、交流人口や関係人口等の創出・拡大を推進する。

これまでの主な取組・成果

●北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流の拡大

■北海道新幹線PR活動の実施 [北海道新幹線建設促進道南地方期成会]

・「世界遺産登録1周年記念 親子で参加！見て知って学ぼう北海道新幹線」

開催日：令和4年8月4日、8日

概要：次世代を担う道南地域の子供たちに北海道新幹線を身近に感じてもらい、利用促進に繋げていくことを目的に親子見学会を開催。北海道・北東北の縄文遺跡群」に関連した縄文学習も実施。



●個性豊かな観光地づくりと受入体制の充実

■檜山地域観光パンフレットの刷新 [振興局]

・檜山エリアガイドブックの刷新

発行：令和5年3月

概要：檜山管内に訪れる方々に向け、観光名所やアクティビティ、イベントなど多岐にわたる情報を紹介するため、平成28年3月に発行したガイドブックを刷新して発行。



●道南の多様な魅力を活かした移住・定住及びワーケーション等の推進

■移住・定住及びワーケーション等の推進 [市町、振興局]

・「北海道移住・交流フェア」への出展

開催日：令和4年11月6日

出展団体：東京交通会館

概要：渡島総合振興局、北斗市、七飯町、森町、檜山振興局、乙部町、奥尻町各個別ブースにおいてフェア来場者への個別相談対応。114組147名が参加。



■地域おこし協力隊の増加及び定着に向けた取組の実施 [振興局]

・道南地域おこし協力隊研修会

開催日：令和4年10月6日

場所：八雲町ペコレラ学舎

概要：八雲町地域おこし協力隊員による活動発表やグループワークの実施など、対面での地域おこし協力隊員等の交流の場を提供。



主な評価指標 (KPI)

主な評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
道南地域への観光入込客数	793万人 (R2)	1,136万人 (R4)	1,521万人 (R6)	74.7%
北海道型ワーケーション参加市町村数 (檜山地域)	3町 (R3)	5町 (R4)	7町 (R7)	71.4%
道南地域の地域おこし協力隊員数	45人 (R2)	57人 (R4)	58人 (R7)	98.3%

R6年度の主な取組

■観光関連事業者等による観光客への対応力や説明力等のスキルアップのための体験観光勉強会の開催 [振興局]

■アウトドア・アクティビティの専門家招へいによるファミリー層・若年層向け体験メニュー開発・磨き上げ支援 [振興局]

■「地域・人おこし」交流会の実施、地域資源を活用した企業向けワーケーションの合宿・研修用コンテンツの開発 [振興局]

道南の優位性を活かしたカーボンニュートラルへの挑戦プロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）

目的

地域特性を最大限に発揮し、洋上風力などの再生可能エネルギーの活用や森林資源の循環利用、さらには住宅や公共施設の省エネ化等に向け、関係者が一体となって取り組み、世界、日本、そして本道の脱炭素化に貢献する。

これまでの主な取組・成果

●温室効果ガス排出量削減に向けた取組の促進

■ゼロカーボン推進に関する発信 [振興局]

・「はこだてエコライフ展2022」での展示

期 間：令和4年11月19日～27日

場 所：シエスタハコダテ4階Gスクエア

概 要：はこだてエコライフ展において、啓発パネルを展示するとともに、道南スギの間伐材で作成した「ゼロカーボンコースター」を配布。



■地域における省エネルギーの推進と新エネルギーの導入を促進 [振興局]

・渡島、檜山各合同庁舎における「V2Bシステム」の導入

概 要：電気自動車と建物間で電力を相互供給するシステムで、太陽光によって発電し、EVのバッテリーに貯めた電気を庁舎に供給することで、脱炭素化に貢献。



●地域資源を活かした再生可能エネルギーの利活用推進

■洋上風力発電導入に向けた取組への支援 [町、国、振興局]

・渡島エリア

再エネ海域利用法における洋上風力の促進区域指定に向けて活動を展開している松前町に支援を実施。

・檜山エリア

地元で進められている合意形成を支援するための住民説明会をせたな町で開催したほか、先進地域の好事例となる取組等の情報収集を実施。



●吸収源対策としての森林の適正管理と自然環境の保全

■檜山の森林づくり運動の推進 [振興局]

・檜山の森づくり植樹祭inいまかね

開 催 日：令和4年5月14日

概 要：檜山管内の自然豊かな森・川・海を次世代に引き継ぐため、地域住民参加による植樹祭を開催。



評価指標 (KPI)

評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
道南地域のゼロカーボンシティ表明市町村数	0市町 (R3)	12市町 (R4)	10市町 (R7)	120.0%
道南地域の新エネルギー導入量 (設備容量)	33万kw (R1)	41.6万kw (R3)	44.4万kw (R7)	93.7%

R6年度の主な取組

■管内高校と連携した、ワークショップ・フィールドワーク等を通じたゼロカーボン教育の実施 [振興局]

■再エネ海域利用法における洋上風力の促進区域指定に向けた支援 [振興局]

■商業施設での展示会等、教育機関や木育マイスターなどと連携した木育活動の推進 [振興局]

地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）

目的

製品のブランド化や適正な資源管理などによる付加価値の向上、ポストコロナに対応した販路の拡大など、稼ぐ産業への転換及び担い手不足への対応を推進する。

これまでの主な取組・成果

●農林水産業の生産力向上

■立茎アスパラガス栽培に係るスマート農業技術の確立

〔町、JA、普及センター、振興局〕

・ハウス立茎アスパラガス自動かん水導入実証試験

期間：令和4年5月～11月

概要：ハウス管理の軽減と適正管理を目指し、関係機関と試験実施者で意見交換を行いながら試験を推進。



●農林水産業への新規就業につながる担い手対策の推進

■農業を支える担い手の育成・確保〔振興局〕

・農業高校等出前講座

開催日：令和4年10月19日、20日

場所：檜山北高等学校

概要：高校生等の若者を青年新規就農者として確保・定着させるため、就農への意欲を喚起する取組として出前講座を開催。



●農林水産業の付加価値向上と販路拡大

■道南地域製品の販路拡大につなげる活動の展開〔振興局〕

・道の駅等個別商談会

開催日：令和4年6月29日、令和5年2月14日

概要：道の駅等と地元事業者のマッチングを目的とした個別商談会に加え、道の駅担当者による情報交換会を併せて開催。



■地域材の認知度向上と人材育成を図る取組〔振興局〕

・学校木質化プロジェクトの実施

場所：森高等学校

概要：地域材の利用促進とデザイン力のある人材育成を図るため、森町と連携し同校生徒のアイデアと実践により、校舎空間の一部を道南スギ等を活用して木質化を検討・実践。



主な評価指標（KPI）

主な評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
連携地域の農業産出額	525億円（H30）	555.8億円（R3）	549億円（R7）	101.2%
農林水産業の新規就業者数	73人（R1）	58人（R3）	105人（R6）	55.2%
道南スギの年間製材出荷量（渡島地域）	20,228m ³ （R1）	15,425m ³ （R4）	23,500m ³ （R6）	65.6%

R6年度の主な取組

■ブリの消費拡大に向けた効果的なPR活動や、飲食店でのブリの活用促進に向けた各種取組の実施〔振興局〕

■檜山製品の認知度向上や管内事業者の販路拡大に向けた特産品販売イベント「ひやマルシェ」の開催〔振興局〕

■新規就農者の確保につながる相談会、農業体験ツアー等の開催〔振興局〕

暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）

目的

地域住民をはじめ自治体や関係機関、事業者等の連携のもと、人口動態なども踏まえた地域全体の医療体制や交通体系の最適化に向けた取組を進めるとともに、ハード・ソフト両面から地域防災の充実強化を図る。

これまでの主な取組・成果

●公共交通の維持・確保

■地域公共交通計画策定に向けた意見交換会の開催 [振興局]

・生活公共交通意見交換会

開催日：令和4年11月30日、令和5年1月26日（書面）
場所：渡島総合振興局合同庁舎
概要：生活公共交通を維持・確保していくことを目的に、交通事業者を交えた意見交換会を開催。



●安心で質の高い医療・福祉サービスの強化

■地域医療の確保 [札幌医科大学]

・道立江差病院

概要：道立江差病院を中心に、南檜山各町において札幌医科大学医学生地域体験研修の受入に協力。同大学「地域医療研究教育研究センター」から指導教員（医師）を派遣し、実践的な指導を実施。



●防災体制の向上と安全・安心なまちづくりの推進

■災害応急対策に係る訓練の実施 [振興局]

・災害対策渡島地方本部指揮室設置・運営訓練

開催日：令和4年4月27日
場所：渡島総合振興局合同庁舎
概要：大規模災害時における迅速な初動対応のため、防災関係機関が一堂に会し、災害に関する情報収集、各機関との連絡調整を行う訓練を実施。



■地域防災力の向上に資する研修会の開催 [振興局]

・北海道地域防災マスター認定研修会

開催日：令和4年11月13日
場所：松前町パートナーシップランド
概要：地域での防災活動のリーダーとなる「北海道地域防災マスター」が地域防災活動を推進するため必要な、平常時や災害時における防災知識等の習得を促進。



評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
渡島地域の地域公共交通計画策定カバー率	36% (R3)	63% (R4)	100% (R5)	63.0%
檜山地域の地域公共交通計画策定カバー率	14% (R3)	71% (R4)	100% (R5)	71.0%
渡島地域の自主防災組織の活動カバー率	59.7% (R2)	59.5% (R4) (全国平均値: 84.7%)	全国平均値以上 (R6)	70.2%
檜山地域の自主防災組織の活動カバー率	60.1% (R2)	61.2% (R4) (全国平均値: 84.7%)	全国平均値以上 (R6)	72.3%

R6年度の主な取組

- 国内外の観光客に対する地域公共交通PRの実施、担い手確保を目的としたバス運転手合同就職相談会の開催 [振興局]
- 道南三圏域において各地域医療構想調整会議等を通じ、将来にわたり持続可能な医療提供体制の構築に向けた取組の推進 [振興局]
- 市町村における防災訓練実施の支援等、地域防災体制の強化と住民の防災意識の向上を図る取組の実施 [振興局等]

地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）

目的

「食」や「観光」、「再生可能エネルギー」など、地域を支える産業の振興や企業誘致を推進するとともに、地元中小企業の事業活動の活性化を図り、若年層を中心とした地元への定着及び雇用の創出を図る。

これまでの主な取組・成果

●地域の強みを活かした地域産業の振興や企業誘致の推進

■「道南ワインアカデミー」の開催 [振興局]

・ワイン関連事業者向けセミナー

開催日：令和4年6月20日（オンライン）、
令和5年3月14日

概要：醸造用ブドウ栽培従事者やワイナリー設立予定の事業者等を対象に、気候がワインの醸造や品質に及ぼす影響や、ワイン市場のトレンドや動向等に関するセミナーを開催。



■個別相談商談会の開催 [振興局]

・「道南食のブランドフェア2022」

開催日：令和4年10月12日

場所：函館国際ホテル

概要：道内外のバイヤー等を招へいし、生産者及び食品加工業者等との個別相談商談会を開催。道内外バイヤー・食のサポーター33社52名、道南及び青森の生産者・加工業者等58社が参加。



●産業振興と雇用対策との一体的展開による雇用の創出及び若年層の定着

■企業見学会及び就職ガイダンスの実施 [振興局]

・地元のおしごと紹介フェア

開催日：令和4年11月10日

場所：函館アリーナ

概要：就職活動を始める前の高校生等の若者を対象に、就職先の決定の際に地元企業を就職先の選択肢に入れてもらうため、当フェアを開催。計224名参加。



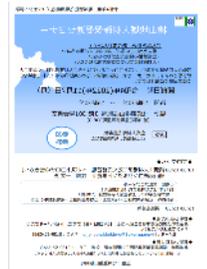
■企業の働き方改革の推進 [振興局]

・檜山地域人材確保促進セミナー

開催日：令和4年11月7日

場所：檜山振興局

概要：企業人材育成担当者などを対象に、人材獲得に向けた企業情報の発信方法や人材確保についての支援など紹介。計15名が参加。



評価指標 (KPI)

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
食の個別相談会等での商談成約件数	281件 (H26-H30)	372件 (R2-R4) (R4:174件)	300件 (R2-R6)	124.0%

R6年度の主な取組

■「世界料理学会」参加の料理人等を対象とした、食材の産地を巡る「産地見学会」や食関連事業者等による「食材見本市」の開催 [振興局]

■宿泊事業者等と食関連事業者の連携を図り、道南の食やワイン、お酒の魅力を活かす付加価値向上セミナーの開催 [振興局]

■求職者と地元企業の相互理解を図る企業・求職者向け企業訪問・見学会の実施 [振興局]

縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）【連携地域を越えて取組を推進するエリア】石狩地域、胆振地域

目的

先人から受け継いだ貴重な財産への理解を深め、郷土の誇りと愛着を再認識することで、次世代へ継承していくとともに、この魅力ある地域資源を活用し、観光など地域産業の活性化に繋げていく。

これまでの主な取組・成果

●縄文文化の魅力発信と次世代への継承の推進

■世界遺産登録記念事業の開催

〔市教育委員会、道南縄文文化推進協議会、民間、振興局〕

・世界遺産登録1周年記念事業

概要：「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録1周年を記念したロゴマークの作成や、「JOMON WEEK in 2022 SUMMER」では、渡島管内の縄文関連展示施設を巡るスタンプラリーなどを実施。



■縄文に関する取組の発信〔振興局〕

・JOMON 渡島ネットワーク

概要：縄文を多くの方々を知っていたき、地域活性化につなげていくため、ネットワークに参加いただいている皆様の取組を振興局のホームページにて紹介。ネットワークには、85団体が参加中（特別会員含む）。



●遺産を活用した誘客促進

■道外商業施設等でPR活動の実施〔振興局〕

・縄文関連ワークショップの実施

開催日：令和5年2月

場所：東京都（新宿高島屋）、兵庫県（神戸ハーバーランド）

概要：世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」及び縄文文化の普及啓発のため、縄文グッズ作り体験やパンフレットの配布を実施。



■縄文文化の活用〔振興局〕

・「JOMON CULTURE STYLE BOOK」

概要：縄文時代のライフスタイルと関連性の深い「食・ものづくり・自然」の各分野で活躍する皆様にインタビューを行い、遺跡や展示施設を解説するガイドブックとは違った角度から「渡島の縄文」を紹介。



評価指標（KPI）

評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
渡島管内への観光入込客数	688万人（R2）	1,023万人（R4）	1,371万人（R6）	74.6%

R6年度の主な取組

■縄文文化継承の担い手意識醸成に向けた、地元高校生による幼児・児童向けに縄文の魅力伝える普及活動等の実施〔振興局〕

■公共施設等でのパネル展等の実施、企業と連携した縄文文化の普及啓発イベントの開催〔振興局等〕

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流・定住促進プロジェクト	観光入込客数（渡島地域）	688万人 (R2)	774万人	1,023万人				1,371万人 (R6)	74.6%
	観光入込客数（檜山地域）	105万人 (R2)	102万人	113万人				150万人 (R6)	75.3%
	ちょっと暮らしの利用者数（道南地域）	109人 (R2)	123人	332人				210人 (R7)	63.3%
	ちょっと暮らしの利用者数（渡島地域）	52人 (R2)	63人	42人				80人 (R7)	52.5%
	ちょっと暮らしの利用者数（檜山地域）	57人 (R2)	60人	290人				130人 (R7)	223.1%
	ちょっと暮らしの滞在日数（檜山地域）	2,713日 (R1)	458日	1,488日				3,100日 (R7)	48.0%
	北海道型ワーケーション参加市町村数（檜山地域）	3町 (R3)	4町	5町				7町 (R7)	71.4%
	地域おこし協力隊員数（渡島地域）	29人 (R2)	39人	38人				37人 (R7)	102.7%
	地域おこし協力隊員数（檜山地域）	16人 (R2)	19人	19人				21人 (R7)	90.5%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
道南の優位性を活かしたカーボンニュートラルへの挑戦プロジェクト	ゼロカーボンシティ表明市町村数（渡島地域）	0市町 (R3)	4市町	8市町				6市町 (R7)	133.3%
	ゼロカーボンシティ表明市町村数（檜山地域）	0町 (R3)	1市町	4市町				4市町 (R7)	100.0%
	新エネルギー導入量（設備容量）（渡島地域）	18.4万kw (R1)	27.0万kw (R2)	26.8万kw (R3)				25.8万kw (R7)	103.9%
	新エネルギー導入量（設備容量）（檜山地域）	14.6万kw (R1)	12.7万kw (R2)	14.8万kw (R3)				18.6万kw (R7)	79.6%
	造林面積（渡島地域）	2,728ha (H27-R1)	(年度ごとの実績値公表なし)	(年度ごとの実績値公表なし)				4,341ha (R2-R6)	—
	造林面積（檜山地域）	1,050ha (H27-R1)	(年度ごとの実績値公表なし)	(年度ごとの実績値公表なし)				2,084ha (R2-R6)	—
地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト	農業産出額（渡島地域）	374億円 (H30)	420億円	集計中				391億円 (R7)	107.4%
	農業産出額（檜山地域）	151億円 (H30)	135.8億円	集計中				158億円 (R7)	85.9%
	農林水産業の新規就業者数	73人 (R1)	57人	集計中				105人 (R6)	54.3%
	農林水産業の新規就業者数（渡島地域）	55人 (R1)	40人	集計中				81人 (61)	49.4%

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト	農林水産業の新規就業者数（檜山地域）	18人 (R1)	17人	集計中				24人 (61)	70.8%
	道南スギの年間製材出荷量（渡島地域）	20,228m ³ (R1)	18,467m ³	15,425m ³				23,500m ³ (R6)	65.6%
	伐採立木材積（渡島地域）	985千m ³ (H27-R1)	(年度ごとの実績値公表なし)	(年度ごとの実績値公表なし)				1,267千m ³ (R2-R6)	—
	伐採立木材積（檜山地域）	396千m ³ (H27-R1)	(年度ごとの実績値公表なし)	(年度ごとの実績値公表なし)				565千m ³ (R2-R6)	—
	造林面積（渡島地域）【再掲】	2,728ha (H27-R1)	(年度ごとの実績値公表なし)	(年度ごとの実績値公表なし)				4,341ha (R2-R6)	—
	造林面積（檜山地域）【再掲】	1,050ha (H27-R1)	(年度ごとの実績値公表なし)	(年度ごとの実績値公表なし)				2,084ha (R2-R6)	—
暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト	地域公共交通計画策定カバー率（渡島地域）	36% (R3)	36%	63%				100% (R5)	63.0%
	地域公共交通計画策定カバー率（檜山地域）	14% (R3)	14%	71%				100% (R5)	71.0%
	航路輸送（江差—奥尻間）の旅客数（檜山地域）	33,465人 (R2)	36,149人	43,696人				64,000人 (R7)	68.3%
	航路輸送（函館—奥尻間）の利用客数（檜山地域）	7,435人 (R2)	7,877人	9,588人				12,000人 (R7)	79.9%

評価指標（KPI）一覧

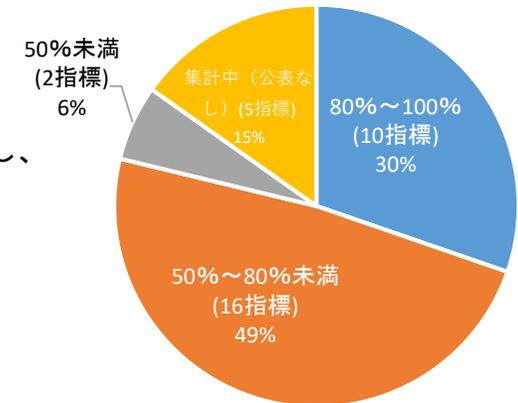
プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト	自主防災組織の活動カバー率（渡島地域）	59.7% (R2)	59.7% (全国平均値:84.4%)	59.5% (全国平均値:84.7%)				全国平均値以上 (R6)	70.2%
	自主防災組織の活動カバー率（檜山地域）	60.1% (R2)	61.3% (全国平均値:84.4%)	61.2% (全国平均値:84.7%)				全国平均値以上 (R6)	72.3%
地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト	食の個別相談会等での商談成約件数	281件 (H26-H30)	198件 (R2-R3) (R3:104件)	372件 (R2-R4) (R4:174件)				300件 (R2-R6)	124.0%
縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト	観光入込客数（渡島地域）【再掲】	688万人 (R2)	774万人	1,023万人				1,371万人 (R6)	74.6%
	観光入込客数（檜山地域）【再掲】	105万人 (R2)	102万人	113万人				150万人 (R6)	75.3%
	観光入込客数（胆振地域）	931万人 (R2)	948万人	1,418万人				1,764万人 (R6)	80.4%
	観光入込客数（石狩地域）	1,336万人 (R2)	1,577万人	2,324万人				3,100万人 (R7)	75.0%
	多言語化など、縄文文化の理解促進に向けて新たな取り組みを行った施設数（渡島地域）	1施設 (R2)	10施設	11施設				11施設 (R7)	100.0%

評価指標（KPI）一覧

分析・対応方向

- ・ 33の評価指標のうち、10つの指標で80%を超える進捗があった。（集計中：5指標）
- ・ 観光入込客数は、新型コロナウイルス感染症による影響が続いているが、微増している。
- ・ ちょっと暮らしの利用者数は、地方移住への関心の高まりに伴い、増加している。
- ・ ゼロカーボンシティ表明市町村数は、連携地域内の7市町から新たに表明があった。
- ・ 道南スギの年間製材出荷量は、新型コロナウイルス感染症の影響により、買い手及び生産量が減少し、基準値以下となった。
- ・ 航路輸送（江差―奥尻間）の旅客数及び利用客数は、増加傾向にある。
- ・ 食の個別相談会等での商談成約件数は、単年ベースの目標値（年60件）を大きく上回った。
- ・ 令和5年度の実績については、引き続き、市町村をはじめとした関係機関との連携を図りながら、各プロジェクトの目標達成に向け、豊富な地域資源を活用した各般の実績を推進する。

令和5年度KPI進捗率



R 6 年度における渡島総合振興局の主な取組（振興局独自事業）

事業名	概要	主な関連プロジェクト ^(※)
「北の縄文」魅力発信・ファン拡大推進パワーアップ事業	R3年7月に世界遺産登録となった「北海道・北東北の縄文遺跡群」について、縄文遺跡群を含む「北の縄文ファン」拡大に向けた取組を一層強化するとともに、地域の貴重な財産である縄文遺跡・縄文文化を次世代へ継承するための事業を展開する。	⑥
「食彩王国南北海道」スパイラルアップ事業	道南地域の独自性・優位性のある食の魅力をさらに向上するため、「つなぐ・つくる・かせぐ」をキーワードに地域内連携を促進し、ポストコロナの社会経済状況の変化に対応しながら、食彩王国南北海道ブランドの確立へ向けた取組を加速する。	⑤
渡島の多様性を活かした次世代を支える農業労働力確保推進事業	人口減少社会に対応した持続的な農業を確立するため、渡島地域の営農実態に即した新技術の普及や次世代の渡島地域を支える多様な担い手の育成・確保を図る。	③
おしまスタイル・都市と農山漁村バトンリレー事業	農業・農山漁村の活性化を図るため、各機関と連携して、管内にある豊富な地域資源を最大限に活用した教育旅行や体験観光を通じた都市と農村の交流、農畜産物の高付加価値化、地産地消等の取組を推進する。	①③
みんなで広げる木づかいプロジェクト！	利用期を迎えている道南スギ等の地域材の利用を広げるため、地域住民や学生、管内市町村職員等に地域材を活用したまちづくりのデザインを学ぶ場を提供するほか、地域材の普及・PR活動を進めるなど、異業種・地域住民等と連携して地域に根ざしたブランド化を推進する。	③
ブリの活用連携促進事業	管内がブリの一大生産地であることへの認知度を高め、産学官が連携して新商品や新メニューを開発することで需要を喚起するとともに、イカの原料不足で苦境にあえぐ水産加工業者や飲食店での活用を促進し、消費を拡大させることで魚価の向上を図る。	③
渡島管内漁業就業対策事業	近年の道内・国内における労働者不足の影響により、減少傾向にある渡島管内の漁業経営体の担い手確保のため、渡島管内においてマッチングフェア及び漁労体験を実施する。	③
渡島の「人おこし」プロジェクト	地域おこし協力隊員や地域づくりにチャレンジする「人」をさらに支援するため、振興局が交流等の機会を設け隊員の増加や定着の促進を図ることで、地域の人材定着・移住者の増加につなげる。	①
「みなみ北海道まるっと周遊」観光地域づくり強化事業	新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症となり、回復、拡大する観光客への対応が急務となる中、コロナの影響で体力が落ちている観光関連事業者等を支援するため、人材育成や受入環境整備の他、観光PR等の誘客促進の取組を展開する。	①⑥
訪日外国人向け環境整備・集客プロモーション事業	観光施設等で受入体制を整備し外国人観光客の満足度の向上を図るとともに、アドベンチャートラベル（AT）について、将来的にガイドと成り得る人材を増やし、普及に向けた基盤整備を行う。また、今後の施策検討のため管内の訪日外国人を対象に観光動向調査を行うとともに、地域公共交通の利用促進に向けた施策を展開する。	①⑥
「ゼロカーボン北海道」おしま省エネ・新エネ普及啓発事業	「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、管内の自治体や事業者、地域住民に対して、渡島合同庁舎V2Bシステムの運用により得られたCO2削減効果の周知等による電気自動車（EV）の普及や「ゼロチャレ家計簿アプリ」の活用促進を通して、地域における省エネルギーの推進と新エネルギーの導入促進を図る。	②

※渡島地域が推進するプロジェクト

①北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流・定住促進プロジェクト	②道南の優位性を活かしたカーボンニュートラルへの挑戦プロジェクト
③地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト	④暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト
⑤地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト	⑥縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト

R 6 年度における檜山振興局の主な取組（振興局独自事業）

事業名	概要	主な関連プロジェクト ^(※)
ひやま農林業持続的発展推進事業	ひやま農林業を持続的に発展させるためには、次代を担う人材の育成・確保や多様な人材の活用、農産物の差別化を図ることが重要であることから、関係機関と連携を図りながら、人材の育成・確保、労働力の確保及び高付加価値化に係る取組を推進する。	②③
育てる漁業みんなで応援プロジェクト	近年、主要魚種の漁獲が低迷している中、新たにチャレンジしている増養殖事業について、経営安定対策を目的とした体験プログラムの創出事業を実施する。	③
檜山地域ヒグマ防除対策推進事業	ヒグマによる人身被害を防ぐため、人里周辺でのヒグマ出没抑制及び地域対応力の強化を図る。	②
ゼロカーボンステップアップ・関連産業参入促進事業	檜山地域の洋上風力発電事業等を活用した脱炭素化推進に資するため、管内各町の地域プロジェクトを支援するとともに、専門人材の確保・育成による管内事業者の脱炭素事業参画促進や、普及イベント等を通じた地域全体の気運醸成を図る。	②
未来の檜山を支える人材確保推進事業	檜山地域では、人口減少や少子高齢化の進行などにより、幅広い産業分野で人手不足が深刻化していることから、地域産業の担い手を確保するため、道内外の若者を対象にした地元企業への就職促進や各町や事業者等の外国人材の受入れに関する制度などの理解促進、多文化共生の促進を図る。	⑤
檜山地域関係人口定着促進事業	全道よりも早く人口減少・少子高齢化が進む檜山地域において、関係人口の創出・定着や移住定住の促進に向けた取組を進めることで持続可能な地域社会のモデルを構築する。	①③
オール檜山・食の魅力向上事業	檜山管内の食産業の魅力向上を図るため、関係機関等と連携し、地域資源を最大限に活用した商品開発や、商品磨き上げによる管内産品の付加価値向上と販路拡大に向けた支援により、地域経済の活性化を図る。	③
檜山の観光高付加価値化促進事業	檜山への旅の魅力向上・地域経済活性化を図るため、関係機関等と連携し、檜山管内の独自性ある歴史文化資源及びアウトドアアクティビティ資源について、個々の歴史文化資源をつなぐことによる新たな価値創出、各部門の専門家招聘等による各観光資源の質の向上、旅行会社招聘による商品造成及びSNSを活用した情報発信等を行う。	①⑥
環境に優しい地域モビリティ導入検討事業	檜山地域の脱炭素化の取組を促進するとともに、人口減少・少子高齢化が急速に進行する当地域における交通基盤の強化や観光客の二次交通を確保するため、環境に優しい新たな地域モビリティの導入に向けた調査・検討を行い、脱炭素先行地域や課題先進地域の課題解決モデルとして普及を図る。	②④

※檜山地域が推進するプロジェクト

①北海道新幹線の札幌開業を見据えた交流・定住促進プロジェクト	②道南の優位性を活かしたカーボンニュートラルへの挑戦プロジェクト
③地域に根ざした農林水産業の持続的発展プロジェクト	④暮らしの安全・安心を支えるまちづくりプロジェクト
⑤地域の強みを活かした産業活性化・雇用創出プロジェクト	⑥縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト